



共催

第333回

圓橘の会



7月25日（土）15時～（開場14時半）

三遊亭圓橘・橘也

一、怪談・牡丹灯籠「刀屋の場」

予約 2,500円 当日 2,800円

※お申込みはお電話 03-5639-1776 または info@fukagawatokyo.comまで

7月のカレンダー

催し物の詳細は2面をご覧ください

月	火	水	木	金	土	日
		1	2	3	4	5
6 休館日	7	8	9	10 おきがる講座	11 おきがる講座 江戸※深川	12
13 休館日	14	15	16	17	18	19
20	21 休館日	22	23	24	25 圓橘の会	26
27 休館日	28 おきがる講座	29	30	31		

開館時間 10:00-18:00（金・土曜日は19時まで）

喫茶にちようの営業日は <http://nichiyou.net/wp/> をご覧ください

7月の催し

主催



江戸※深川



7月11日(土) ①11時～ ②13時半～

深川と米にまつわるレクチャーと江戸時代の米レシピ
「名飯部類」で紹介されているメニューをご賞味できます。

今回のメニュー

まめめし

諸菽飯

各回 25名 1,500円

※お申込みはお電話 03-5639-1776
または info@fukagawatokyo.comまで

主催

モダン館 コドモアソビ

7月11日(土) 14時～16時

昔懐かしい「ベーゴマ」、折って見て楽しい「折り紙」。
コドモアソビ、してみませんか。大人の方もぜひ遊びに来てください。

※参加無料

※教える人

鈴木祥元氏(ベーゴマ)
高橋勝美氏(折り紙)



主催

おきがる講座 Salon de ふかがわ



7月10日(金) 14時～15時半 深川めし

7月28日(火) 14時～15時半 江戸の行楽地 門前仲町

※7月28日は2013年3月15日分の再講座

講師 龍澤 潤(深川東京モダン館)

両日とも 料金 500円 (1ドリンク付) 予約不要・定員30名

モダン館ボランティアガイドだより③

70歳からの江戸歩き

—幻想空間としての江戸—



私は小学校へ1946年に入学しましたが、その高学年の頃、『銭形平次』、『旗本退屈男』、『鞍馬天狗』といった時代劇映画を観ました。これが江戸という迷宮に迷い込むきっかけだったように思います。

当時は名古屋市に住んでいて、近所に邦画の上映館が3館あり、週に1～2度は映画館へ通う日々が続きました。同時に『講談倶楽部』などの雑誌で、山手樹一郎、村上元三、吉川英治、大佛次郎といった人たちの小説を読みました。

そんな生活が中学の終わりころまで続いたのですが、高校時代になると、映画は名画座で見る『望郷』や『自転車泥棒』のようなものになり、読む本もそれにつれて変化していきました。

大学生時代、はじめて東京の地を踏んだのは、あの<1960年6月18日>で、江戸の足跡をたどるというような願望はとても実現しませんでした。

社会人になり金沢で過ごしたのですが、年に1度ほど東京に出る機会があると、上野、浅草から増上寺、泉岳寺、六義園、富岡八幡宮と順々に訪ね歩いたものです。意識の底の方に眠っている「江戸という迷宮」が、東京の地を踏むと途端に目覚め、自己のリアリティを求めるといった感じでしょうか。

60歳を過ぎると仕事も減りましたので、あらためて池波正太郎、藤沢周平、佐藤雅美、山本一力といった人たちの小説を読みすすみました。そしてついに70歳になって江東の地に移住することができ、深川を歩く自由を得ました。(ただし、今は少し離れたところに住んでいます)。

さて、私は、歴史というものは<言葉で織り上げられた幻想世界>だと考えています。深川の地を歩いていると、深川という幻想世界がよりリアリティを増してくるようになります。そこに生きていた人々の生活の相が具現化してくるようです。歴史には文書が重要だと言われていいます。しかし文書だけつなぎ合わせても歴史

にはなりません。幻想世界に文書が織り込まれてはじめてリアリティのある歴史が出現するのです。

杉浦日向子『江戸アルキ帖』という著書があります。左ページには100余枚のカラーイラストが描かれ、右ページにはそれぞれにコメントが書かれた本です。例えば、「安永四年十月二十日<晴れ> 永代橋」とか、「天保十一年九月十五日<晴れ> 深川・材木町」というイラストが描かれ、その中の人物は頭のとっぺんから足先まで具現化されています。あの日あの時の空気、感触が伝わってくるようです。著者の幻想世界の表出なのですが、その幻視の力といったものを感じ入ってしまいます。

こうして深川の地を歩き、歴史散歩に加わっているうちに、私自身もガイドする立場になってしまいました。ガイドをするというのは、幻想の共有を求める行為なのだと思います。幻想を共有した時の愉しきといったものがその根元にあるようです。

私たちは、このように現代と江戸という二つのパラダイム(ここでは「知の枠組み」といった意味で使います)を行き来しながら生きています。

そんなことを考えながら今日も、深川から本所、向島へと歩いていきたい、と思っています。



(文 江東区文化観光ガイド 足立 満)

深川東京モダン館では、江東区文化観光ガイドによる館内のご案内(10時～16時)およびご希望によりモダン館周辺のまちあるきツアー(1時間程度、11時・14時出発)を行っております。 ※諸事情によりガイド不在の場合もございます。

貸会議室・多目的スペース

深川東京モダン館では2階の多目的スペースと会議室をお貸し出ししています。ミーティングやイベントを行うスペースなどにご利用ください。

◆会議室

利用日時：開館日時 利用例：社内ミーティング、商談、お花・書道・語学の教室等

◆多目的スペース

利用日時：開館日時 利用例：展示、イベント、社内研修、演劇の公演、講演会、教室等



多目的スペース



会議室

※料金、ご予約（ご利用日の半年前から受付）詳細については、お電話またはメールにてお問い合わせ下さい。

※スクリーン、プロジェクター、マイクなど機器類もご利用いただけますので、ご相談ください。

販売物

深川東京モダン館1階では、まちあるきに役立つガイドブックや江東区の文化財ガイドなどを販売しています。

- ・『まちあるき観光ガイド』
- ・『江東区の文化財』各地域
- ・江東区観光キャラクター コトミちゃんグッズ各種
- ・江東区の名所を描いた絵はがき
- ・一筆箋各種
- ・Tシャツ、てぬぐい
- 江戸切子
- ICカード入れ、もくレース
- 深川めしの素など。

喫茶にちよう

深川東京モダン館2Fで不定期に営業している喫茶店です。美味しいコーヒーと米粉スイーツ、そしてきまぐれカレーランチをご用意して皆様のご来店をお待ちしております。

※<http://nichiyou.net/wp/>

営業時間：11時半～

メニュー

- ・にちよう珈琲 300円
- ・にちよう紅茶 300円
- ・カレーランチ 800円～
- ・カレーセット 1000円～

百圓珈琲

深川東京モダン館 1F カウンターでは 100 円のコーヒーをご提供しております（「喫茶にちよう」の営業日のうち土日のをのぞく）。ホットコーヒー「小樽」「ベイキャメル」そして「ひやし」の3種類をご用意しております。まちあるきの休憩時や会社のお昼休み中の一服にどうぞ。



開館日および開館時間

10：00-18：00（金・土曜日は19時まで）

休館日：月曜日

（月曜日が祝日の場合、翌火曜日が休館となります）

「深川東京モダン館だより」第35号（平成27年6月26日）

発行 深川東京モダン館

〒135-0048 東京都江東区門前仲町1-19-15

TEL 03-5639-1776 FAX 03-5620-1632

Mail info@fukagawatokyo.com

ホームページ www.fukagawatokyo.com

